

第65期 中間期 報告書

2025年3月1日▶2025年8月31日





店舗を「街の核」と位置づけ 地域と共に進化することで、持続的な成長と 企業価値向上を図ります。

代表取締役社長
町田 繁樹



株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間期のわが国経済は、緩やかな回復基調にある一方、米国の関税措置等による景気の下振れリスクの上昇や生活必需品の値上げにより個人消費は底固く推移するなど、小売業における経営環境は依然として不透明な状況が続いています。

このような状況の下、当社グループの小売事業において、ライフスタイルは節約意識の高まりや猛暑による外出機会の減少などを背景に、前年の売上を下回りました。一方、食品は、食料品や日用品の値上げが繰り返される中、「全力応援値下げ」やアプリクーポン等の販促施策により売上は堅調に推移しました。

店舗面では、3月に当社初のバラエティコメショップ単独店となる「ア・フルール プティ」を広島駅ビル「minamoa」にオープンし、「ゆめタウン大竹」に「無印良品」を導入しました。また、4月には「ゆめタウン丸亀」で「ヒマラヤスポーツ」の導入に加え、ライフスタイル売場の回遊性を高めました。同じく4月、「ゆめタウン久留米」で、「リトルプラネット」を当社によるフランチャイズ第1号店として導入し、キッズゾーンの再構築により若い子育て世代の取り込みを図りました。さらに6月には、岡山県内で初のNSCとなる「ゆめモール山陽」をオープンし、「ゆめタウン

中津」では直営食料品・ライフスタイル売場の開業以来最大規模のリニューアルにより売場とサービス機能の双方を充実させました。

7月には、ハンドボールチーム「イズミメイプルレッズ広島」の運営会社として「株式会社メイプルレッズ」を新たに設立しました。これまで以上にホームタウンと密接に連携し、ハンドボールを通じて地域に“夢”と“活力”を与え、社会の活性化に貢献することを目指します。

商品面では、8月に当社グループ初の統一PB（プライベートブランド）商品「ゆめイチ」を発表しました。地域密着型の商品開発を推進し、地域特性やニーズを反映した当社ならではの地域密着ブランドとして育成していきます。なお、9月より当社グループで「ゆめイチ」の販売を開始しています。

2025年4月より新たな経営体制の下、店舗を「街の核」と位置づけ、自治体との協働や店舗の個性を生かしたサービスを提供する多機能拠点として、地域の皆さまと共に進化し続けていくことで、当社グループの持続的な成長と企業価値の向上を図ります。

株主の皆さまにおかれましては、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

進化し、深化する「**youme**」を。
地域になくてはならない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。

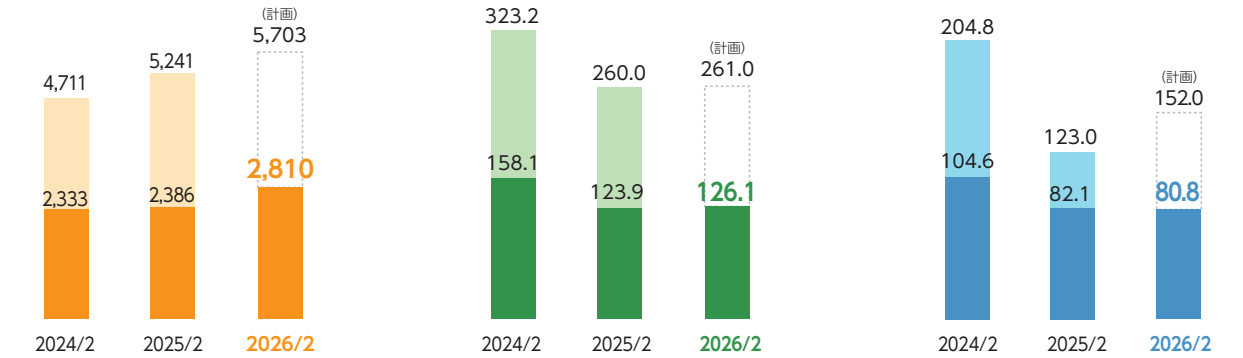


連結財務ハイライト

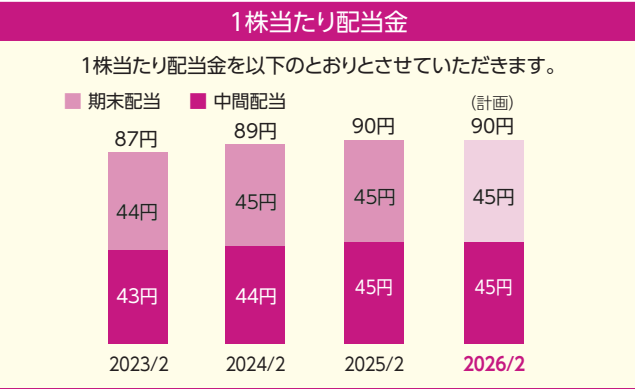
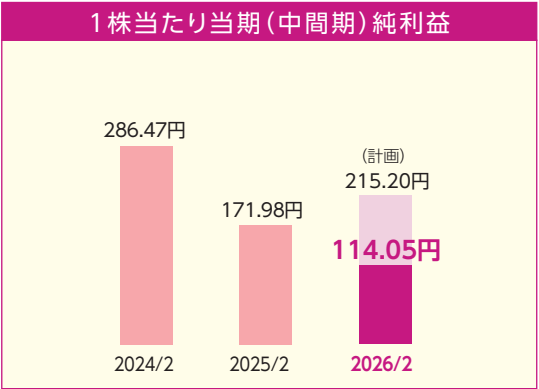
営業収益	
2,810 億円	前年同期比 117.8%
(単位：億円)	

経常利益	
126.1 億円	前年同期比 101.8%
(単位：億円)	

親会社株主に帰属する中間純利益	
80.8 億円	前年同期比 98.5%
(単位：億円)	



※2026年2月期中間期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年2月期中間期及び通期の関連する数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。



進化し、深化する「**youme**」を

イズミグループは「革新・挑戦・スピード」を続けます。

イズミグループのプライベートブランド

\ ゆめイチ 誕生 /

9月11日、イズミグループ初となるプライベートブランド(PB)「**ゆめイチ**」が誕生しました。
手に取りやすい価格、お店に行きたく
なる高品質な「地域イチバン」商品を、
「プライス」「レギュラー」「プレミアム」の
3つのラインアップで構成しました。
第1弾は50アイテム260店舗からス
タートし、順次アイテム数と取扱店舗
を広げていく計画です。



メディア発表後、好調なスタート

ブランドコンセプト

イチバンも。イチオシも。

価格も、品質も、あなたにイチバン寄り添いたい。
食卓に、街に、イチオシな商品をお届けしたい。
そんな想いを込めて生まれたPBです。

3つのラインアップ



| プライス |

節約志向に応える
低価格商品



| レギュラー |

味と品質重視の
中価格帯商品



| プレミアム |

全てにこだわる
高付加価値商品

「子育て世代」の便利と元気をパワーアップ

「ゆめタウン久留米」リニューアルオープン！

4月17日、福岡県久留米市の「ゆめタウン久留米」が、「子育て世代応援」を
テーマにリニューアルしました。

お子さまの『遊ぶ』『学ぶ』『モノ』が全部揃う」をめざし、キッズ売場の面積
を1.3倍に拡張。玩具、文具、雑貨、衣類をはじめ、ランドセルや通学服など
も充実させました。さらに遊びながら考え学べる「リトルプラネット」を導入
し、子育て世代へのサービス機能を充実させています。



キッズ売場を1.3倍に拡張



“遊びが学びに変わる”リトルプラネット導入

「株式会社 メイプルレッズ」設立

新体育館も完成

7月9日、イズミメイプルレッズ広島ของทีม運営会
社「株式会社メイプルレッズ」を設立しました。

10月には練習の拠点と
なる「youmeアリーナ」が
完成。
これまで以上にホーム
タウンと密接に連携し、
ハンドボールを通じて
地 域 に“夢”と“活力”を
与え、社会の活性化に
貢献することを目指し
ます。



新ユニフォームを披露する選手たち



youmeアリーナ(イメージ)／広島市西区

ゆめタウン中津

大分県中津市

2025年6月27日 リニューアルオープン！

売場もサービス機能もさらに充実し 地域活性化に貢献

6月27日、大分県中津市の「ゆめタウン中津」が、1998年の開
業以来最大規模でリニューアルオープンしました。
食品や衣料品などのイズミ直営全売場を一新し、さらに、話題
の専門店9店舗も新たに導入しました。トイレや授乳室なども
改装し、館内全体がより快適な空間へと生まれ変わりました。



中津市民待望の「2nd STREET」を導入。
買取・販売ともに大好評



大分県初、ゆめタウン初出店の
ペットショップ「PETEMO(ペテモ)」

ゆめモール山陽

岡山県赤磐市

2025年6月12日 リニューアルオープン！

岡山県初の「ゆめモール」で 地域の賑わいを創出

6月12日、岡山県赤磐市の「ゆめタウン山陽」が、「ゆめモール
山陽」として生まれ変わりました。
「ゆめモール山陽」は、近年人気の高いモール形式で、直営食品
スーパー「ゆめマート」をはじめ、飲食・生活雑貨など13のテナ
ントが集結した地域密着型モールで、地域活性化の向上に貢献
しています。



開業日には多くの皆さまで賑わいました

ゆめマート曾根

北九州市小倉南区

2025年9月2日
リニューアルオープン！

リニューアルを機に24時間営業へ

9月2日、北九州市小倉南区の「ゆめマート曾根」が、建物を一新
しリニューアルオープンしました。

新鮮な地場野菜や鮮魚に
加え、ゆめマート北九州
オリジナル開発の「これ
旨商品」で品揃えは格段
に充実。リニューアルを
機に24時間営業を開始
し、顧客満足度の向上を
図っています。



ゆめモール那珂川

福岡県那珂川市

2026年春
オープン予定

アクセス抜群の立地で地域活性化の拠点に

2026年春のオープンをめざして、福岡県那珂川市で「ゆめモー
ル那珂川」の準備を進めています。410台の駐車場に加え、地域
交通の拠点となるバスロータリーに隣接していることから、誰も
がアクセスしやすい商業施設になる予定です。



ゆめモール那珂川(イメージ)

イズミが取り組むサステナビリティ — お客さま、地域、テナントさま、社員とともに —

地域の方やお客さまとともに「持続可能な未来」の実現を目指します。

水産エコラベル「MEL認証」取得商品を販売開始

マリン・エコラベル・ジャパン(略称MEL)認証を取得した「かつお」と「ぶり」を、7月1日より一部店舗で販売開始しました(商品により取り扱い店舗は異なります。グループ会社の店舗を除きます。)。 「MEL 認証」とは水産資源の持続性を確保し、豊かな海を守ることを目的とした日本の水産物の認証制度で、イズミは中四国・九州地方のスーパーマーケットとして初めて「MEL認証」を取得しました。 今後は、お客さまへ環境に配慮した商品をさらにお届けするため、取り扱い魚種の拡大を目指します。



MEL認証商品が並ぶ鮮魚コーナー



MEL認証について店頭で紹介

ゆめタウン八女に地域交流拠点がオープン

フレイル防止やひきこもりからの復帰サポートなどを目的に、ゆめタウン八女に地域交流拠点施設「ヨってこん館」が5月16日にオープンしました。「ヨってこん館」は八女市社会福祉協議会が運営し、健康チェックや体操プログラムなどを実施しています。ゆめタウン八女は、これからも地域の皆さまと連携し、「街の核」として多世代交流の場を提供、地域福祉の向上に努めます。



ヨってこん館オープンの様子

官民連携で夏休みに親子向けのイベントを実施

8月2日、イズミ本社にて官民連携イベント「ゆめ育がっこう」を開催しました。こちらはゆめアプリのキャンペーンを通して参加者を募集し、当選した小学4~6年生の子どもとその保護者を対象にした夏休みの特別学習企画で、25組50名が参加しました。サントリーフーズ株式会社や広島県などイズミを含め7団体が講師を務め、各団体のサステナビリティをテーマにした取組みについて、親子で楽しく学びました。今後も事業活動を通じ、環境問題や地域社会への関心を高める啓発活動を実施していきます。



食品ロス削減や資源回収等について授業を実施

荒尾市内の子ども食堂へお菓子を寄贈

7月30日、ゆめタウンシティモールにて荒尾市内の子ども食堂9箇所に対しお菓子の寄贈式が行われました。寄贈式では、「てまえどり」を推進する企画「もぐもぐチャレンジ」で集まった約4万枚のシールを財源として準備したお菓子を各子ども食堂の代表者にお渡しし、代表者の方より感謝の言葉をいただきました。



子ども食堂代表者にお菓子を渡す須藤店長

ともに「youme」を育てるイズミグループ

イズミグループは、小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求していきます。各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客さまに新たな驚きと感動をお届けいたします。

株式会社 ゆめカード

新サービス 提携ローンカードの開始

7月15日より、SMBCコンシューマーファイナンス株式会社と提携し、ゆめか会員さま向けローンカードの発行を開始しました。今後の成長戦略を見据えた新たな収益源として、ゆめか会員基盤を活用した新しいサービスを展開。顧客の利便性をさらに高め、新たなお客さまのニーズにお応えすることで、地域経済の活性化に貢献し、収益改善に繋げてまいります。



株式会社 イズミテクノ

広島市の区民文化センター 2施設で指定管理を新規受託

4月1日より、広島市の佐伯区および安佐南区の区民文化センターで、指定管理者として施設運営を始めました。両施設の近隣にはイズミグループ店舗が複数出店し、施設利用料の支払いには「ゆめか」を導入することで、お客さまの利便性向上を図っています。なお、イズミテクノでは、広島市から従来より受託している安佐北区民文化センターを含め、計3施設の区民文化センターを受託しています。



広島市佐伯区民文化センター



ホール

株式会社 ゆめマート熊本 サニー事業本部

2025年9月「新生サニー」店舗活性化スタート

9月よりサニーは「新生サニー」として新たに生まれ変わりました。メイン施策として「サニー活性化プロジェクト」スタート!!サニー福岡長浜店を皮切りに直営インスタアベーカーリーコーナーを導入しました。サニーの得意分野である「ローコストオペレーション」を主軸に原材料・機材を既存分にて最大限活用。年内5店舗OPENを予定しております。今後もお客さまへ喜んでいただけるお店作りを目指してまいります。



2050年までに目指す姿

youme MIRAI Action

2024年度実績

▶店舗運営に伴うCO₂排出量

2030年度目標 2050年度目標
50%削減 → 排出実質ゼロ

▶プラスチック製レジ袋使用量

2030年度目標 2050年度目標
80%削減 → 使用量ゼロ

2024年度実績
32.4%削減
※目標・実績は2013年度比

2024年度実績
71.5%削減
※目標・実績は2018年度比

▶食品ロス発生量

2030年度目標 2050年度目標
50%削減 → 80%削減
2024年度実績
64.1%削減
※目標・実績は2018年度比

▶食品廃棄物のリサイクル率

2030年度目標 2050年度目標
70% → 100%
2024年度実績
57.3%
※食品リサイクル法の算出方法に基づく

2026年2月期 中間期[連結]決算概況

■ 連結貸借対照表※			(単位:百万円)
科 目	前期末 2025.2.28	当中間期末 2025.8.31	
(資産の部)			
流動資産	119,765	137,245	
固定資産	456,198	460,013	
有形固定資産	352,478	358,286	
無形固定資産	65,793	64,208	
投資その他の資産	37,925	37,518	
資産合計	575,963	597,259	①
(負債の部)			
流動負債	127,095	151,672	
固定負債	149,264	143,683	
負債合計	276,359	295,356	②
(純資産の部)			
株主資本	283,565	285,403	
資本金	19,613	19,613	
資本剰余金	22,739	22,758	
利益剰余金	241,684	246,544	
自己株式	△ 473	△ 3,513	
その他の包括利益累計額	2,342	2,702	
非支配株主持分	13,696	13,796	
純資産合計	299,603	301,902	③
負債純資産合計	575,963	597,259	

① 総資産
5,972億円 [前期末比213億円増加]

- ・現金及び預金は、期末日が銀行休業日であったために仕入債務等の資金決済が翌月初に持ち越されたこと等により6,971百万円増加しました。
- ・受取手形、売掛金及び契約資産は、クレジット取扱高の増加等により6,809百万円増加しました。
- ・当中間連結会計期間末の設備投資額は11,541百万円であり、これは主に先行投資を含む店舗新設、既存店舗の活性化(リニューアル)及びDX投資等によるもので、有形固定資産は、減価償却実施後で5,808百万円増加しました。
- ・のれんは、暫定的な会計処理の確定を行い、前期末の金額は見直し後の金額を用いています。

② 負債
2,953億円 [前期末比190億円増加]

- ・支払手形及び買掛金は、期末日が銀行休業日であったため、決済が翌月初に持ち越されたこと等により32,909百万円増加しました。
- ・短期借入金及び長期借入金は、21,357百万円減少しました。

③ 純資産
3,019億円 [前期末比23億円増加]

- ・利益剰余金は、内部留保の上積みにより4,860百万円増加しました。
- ・自己株式は、立会外買付取引により959,400株を3,170百万円で取得し、自己株式の残高は前期末に比べて3,040百万円増加しました。
- ・これらの結果、自己資本比率は48.2%となり、前期末の49.6%に比べて1.4ポイント低下しました。

※2026年2月中間期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定をおこなっており、2025年2月期中間期及び通期の関連する数値について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

■ 連結損益計算書※

	前中間期 2024.3.1～ 2024.8.31	当中間期 2025.3.1～ 2025.8.31	(単位:百万円)
科 目			
営業収益	238,670	281,037	④
売上高	210,541	251,932	
売上総利益	68,042	80,754	
営業収入	28,128	29,105	
営業総利益	96,170	109,859	
販売費及び一般管理費	84,096	97,173	
営業利益	12,074	12,685	
経常利益	12,392	12,614	⑤
税金等調整前中間純利益	13,115	12,615	
法人税等合計	4,424	4,396	
中間純利益	8,691	8,219	
非支配株主に帰属する中間純利益	479	135	
親会社株主に帰属する中間純利益	8,211	8,084	⑥

■ 連結キャッシュ・フロー計算書※

	前中間期 2024.3.1～ 2024.8.31	当中間期 2025.3.1～ 2025.8.31	(単位:百万円)
科 目			
営業活動によるキャッシュ・フロー	45,912	44,755	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,762	△ 9,915	
財務活動によるキャッシュ・フロー	45,172	△27,868	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,322	6,971	
現金及び現金同等物の期首残高	11,997	15,717	
現金及び現金同等物の中間期末残高	16,320	22,689	

④ 営業収益 2,810億円 [前期比 117.8%]

- ・営業収益は前年同期比42,367百万円(17.8%)増加し、281,037百万円となりました。これは、主にサニー事業の承継による店舗数増加と、前年のシステム障害からの回復による販売増が寄与したこと等によるものです。
- ・営業総利益は、109,859百万円(前年同期比13,688百万円増)となりました。営業収益対比では39.1%となり前年同期に比べて1.2ポイント低下しました。
- ・販売費及び一般管理費については、サニー事業の承継に伴う人件費、賃借料及びのれん償却費等の増加に加え、前年のシステム障害の影響により抑制された広告宣伝費の増加等により、前年同期比13,077百万円(15.6%)増加の97,173百万円となりました。営業収益対比では34.6%となり前年同期に比べて0.6ポイント低下しました。
- ・これらの結果、営業利益は前年同期比611百万円(5.1%)増加の12,685百万円となり、営業収益対比は4.5%と前年同期に比べて0.6ポイント低下しましたが、事業基盤の強化とブランド価値向上に向けた先行投資と位置づけています。

⑤ 経常利益 126.1億円 [前期比 101.8%]

- ・営業外収益は、前年同期比93百万円(15.6%)増加の695百万円となりました。一方、営業外費用は、シンジケートローンに伴う支払利息の増加及び短期借入金の調達金利上昇などにより、前年同期比483百万円(170.6%)増加の767百万円となりました。
- ・これらの結果、経常利益は前年同期比221百万円(1.8%)増加の12,614百万円となりました。営業収益対比は4.5%と前年同期に比べて0.7ポイント低下しました。

⑥ 親会社株主に帰属する中間純利益 80.8億円 [前期比 98.5%]

- ・法人税等は4,396百万円となりました(前年同期比28百万円の減少)。
- ・非支配株主に帰属する中間純利益は135百万円となりました(前年同期比344百万円の減少)。
- ・これらの結果、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比126百万円(1.5%)減少の8,084百万円となりました。営業収益対比は2.9%と前年同期に比べて0.5ポイント低下しました。

会社概要

(2025年8月31日現在)

設 立 年 月 日	1961年10月27日	店 舗 数（連結）	267店舗（GMS・SC 61店舗※1、NSC 7店舗、SM 192店舗※2、その他 7店舗）
本 社 所 在 地	広島市東区二葉の里三丁目3番1号 TEL 082-264-3211（代）	中国エリア:95店舗	GMS・SC 35店舗※1 NSC 4店舗 SM 52店舗※2 その他 4店舗
資 本 金	19,613百万円	九州エリア:159店舗	GMS・SC 20店舗 NSC 3店舗 SM 134店舗 その他 2店舗
従 業 員 数（連結）	正 社 員 5,077名 パートタイマー 11,548名（1日8時間換算）	四国エリア:10店舗	その他のエリア:3店舗
		GMS・SC 4店舗 SM 6店舗	GMS・SC 2店舗 その他 1店舗

※1 中国地方にLECT1店舗が含まれます。
※2 （株）ユアーズのゆめタウン廿日市への出店が含まれます。

役員一覧

(2025年8月31日現在)

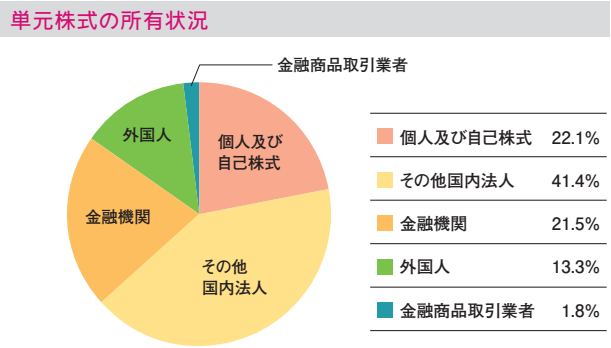
代 表 取 締 役 会 長	山 西 泰 明
代 表 取 締 役 社 長	町 田 繁 樹
取 締 役 副 社 長	山 西 大 輔
取 締 役	田 原 英 樹
取 締 役	青 木 孝 幸
社 外 取 締 役	西 川 正 洋
社 外 取 締 役	矢 野 泉
社 外 取 締 役	青 山 直 美
常 勤 監 査 役	久 永 英 明
社 外 監 査 役	堀 川 智 子
社 外 監 査 役	岡 田 弘 隆

上 席 執 行 役 員	溝 口 晋
上 席 執 行 役 員	河 崎 智 広
上 席 執 行 役 員	阿 部 睦 夫
上 席 執 行 役 員	山 野 正 道
上 席 執 行 役 員	小 林 篤 志
執 行 役 員	岡 本 圭 史
執 行 役 員	柳 井 忠 利
執 行 役 員	田 部 学
執 行 役 員	三 浦 健 司
執 行 役 員	平 公 成
執 行 役 員	大久保 康 三
執 行 役 員	宮 次 太 功
執 行 役 員	廣 瀬 伸 作
執 行 役 員	寺 本 智 広
執 行 役 員	片 山 心
執 行 役 員	梅 田 秀 樹
執 行 役 員	治郎丸 明 子
執 行 役 員	戸 町 奈 緒 子
執 行 役 員	河内山 英 雄

株式の状況

(2025年8月31日現在)

発 行 可 能 株 式 総 数	195,243,000株
発 行 済 株 式 の 総 数	71,665,200株
株 主 数	18,189名
1 単 元 の 株 式 数	100株

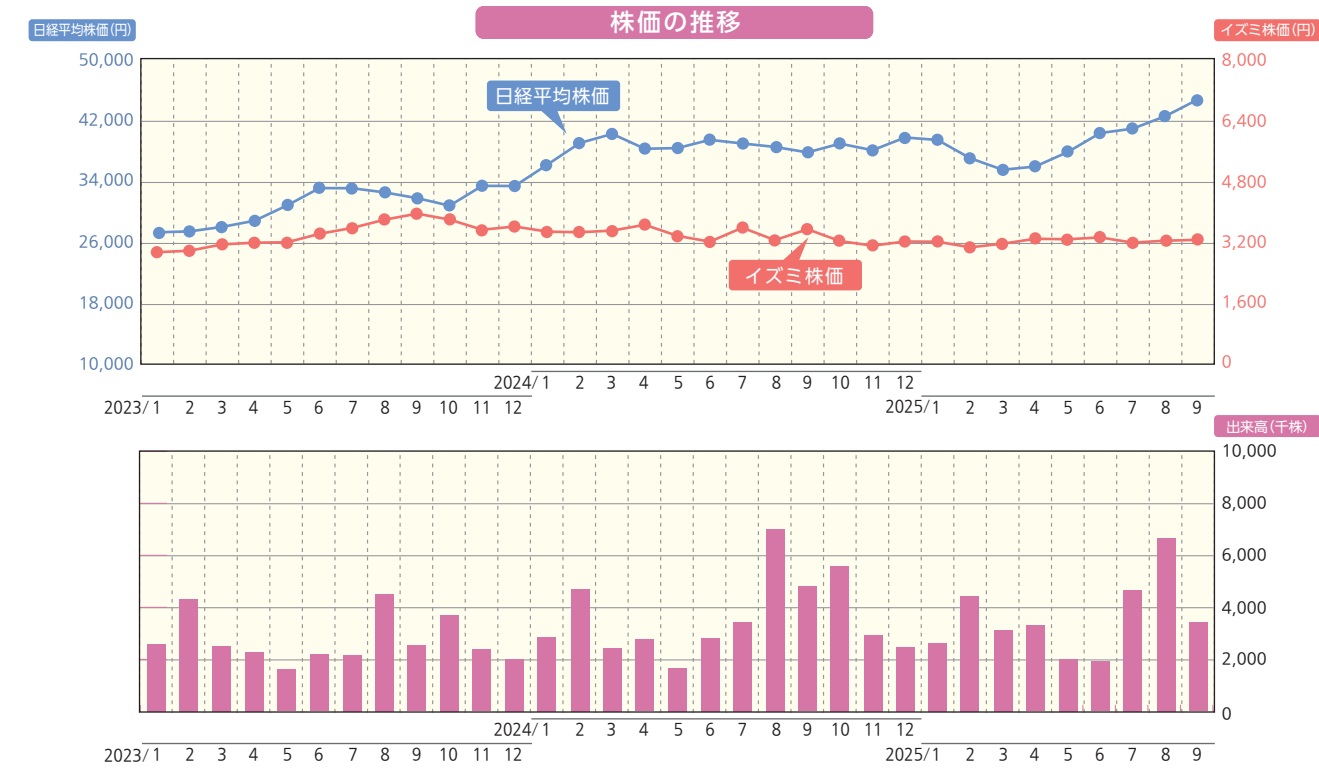


大株主の状況

(2025年8月31日現在)

株 主 名	持 株 数	持株比率
山西ワールド(株)	19,935千株	28.2%
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	4,916千株	6.9%
第一不動産(株)	4,208千株	5.9%
(株)日本カस्टディ銀行(信託口)	3,079千株	4.3%
(株)広島銀行	2,362千株	3.3%
日本生命保険(相)	2,093千株	2.9%
山西 泰明	1,979千株	2.8%
イズミ広島共栄会	1,927千株	2.7%
CEP LUX-ORBIS SICAV	1,637千株	2.3%
THE NOMURA TRUST AND BANKING CO., LTD. AS THE TRUSTEE OF REPURCHASE AGREEMENT MOTHER FUND	1,200千株	1.7%

(注)持株比率は、自己株式(1,032,282株)を控除して計算しています。



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期末配当金 毎年2月末日 中間配当金 毎年8月31日
公告方法	電子公告 (やむを得ない事由のある場合 日本経済新聞)
上場金融商品取引所	東京証券取引所プライム市場
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔郵便物送付先〕	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
〔電話照会先〕	☎ 0120-782-031
〔WEB照会先〕	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行では手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主さまは、左記電話照会先までご連絡ください。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主さまには、株主名簿管理人である左記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設しております。
特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、左記の電話照会先をお願いいたします。

株主優待制度

株主ご優待券またはギフトカード(選択制)

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆さまに対して、「株主ご優待券」か「ギフトカード」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下のとおりお贈りいたします。

ご所有株式数	株主ご優待券	ギフトカード
100株以上	20枚 (2,000円相当)	500円相当
200株以上	30枚 (3,000円相当)	
300株以上	40枚 (4,000円相当)	
400株以上	50枚 (5,000円相当)	
500株以上	60枚 (6,000円相当)	
1,000株以上	100枚 (10,000円相当)	2,000円相当
2,000株以上	200枚 (20,000円相当)	
3,000株以上	300枚 (30,000円相当)	
4,000株以上	400枚 (40,000円相当)	
5,000株以上	500枚 (50,000円相当)	
6,000株以上	600枚 (60,000円相当)	
8,000株以上	800枚 (80,000円相当)	
10,000株以上	1,000枚 (100,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、1千円以上のお買上につき、1千円ごとに各1枚(100円割引券)をご使用いただけます。

長期保有特典制度

毎年2月末日時点で、当社株式を2年以上継続して保有され、かつ毎年2月末時点で300株以上保有の株主さまに、現行の優待制度(選択制)に応じて、「自社商品券」または「ギフトカード」のいずれかを年1回贈呈いたします。

ご所有株式数	自社商品券※1	ギフトカード※2
	現行制度に 株主優待券を お選びの株主さま	現行制度に ギフトカードを お選びの株主さま
300株以上	2,000円相当	500円相当
1,000株以上	4,000円相当	1,000円相当

※1「自社商品券」は、ゆめタウン、ゆめマート、サニー、ゆめシティ、LECT、ゆめテラスの各店舗、(株)ユアーズ、(株)ディリーマート、(株)サンライフ、(有)はなわの店舗等でご利用いただけます。専門店によっては一部ご利用できない店舗がございます。

※2「ギフトカード」は全国のスーパーやデパート等で幅広くご利用いただけるものをお贈りいたします。

泉美術館ご招待券の贈呈

2025年8月31日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆さまに「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

公益財団法人

泉美術館



■ 開館時間

午前11時から午後5時(入館は午後4時30分まで)

■ 休館日

月曜日(祝日・振替休日の場合は開館)
年末年始(12月30日～1月1日)

※展示替えによる臨時休館日

■ 住所

〒733-0833
広島市西区商工センター 2丁目3番1号 エクセル5階
TEL (082) 276-2600

■ ホームページ <https://izumi-museum.jp/>